

第8回退職者連絡会

総会を開催

11月4日、福岡県宗像市内において、第8回退職者連絡会総会を開催し、本部から辻村書記長が出席しました。前村会長による開会挨拶後、九州地区本部山崎副委員長が進行役を務め、JR連合退職者連絡会高井会長・中山事務局長を来賓にお招きし、高井会長ご挨拶では、最近の情勢・自然災害・JR東日本組織問題等を述べられ、続いて、中山事務局長からもご挨拶を頂戴し、辻村書記長からは、会社の経営状況・年末手当交渉・新人事賃金制度・安全、政策課題を述べられました。続いて、昨年の総会からこれまでの経過報告をし、今後の活動等について話し合いを行い、総会のあり方・年齢制限・新役員を決め、前村会長による閉会挨拶では閉会しました。その後、参加者全員で懇親会を開催し、さらに親睦を深めました。尚、前段に交運共済勉強会を開催し、坪井理事長によるご挨拶では、「第8回退職者連絡会総会開催おめでとうございます。日頃より大変お世話になっております。6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨、9月北海道胆振地震、台風21号・24号と、度重なる自然災害の恐ろしさを痛感し、もしもの時のために共済加入を強く勧める。

今後は災害の規模も巨大化し、現在加入している口数よりも増口を検討されたいと述べられ、その後、八木本部統括部長より、加入状況や今後の備えとして加入増口について講義を受けました。



中山事務局長



高井会長



前村会長(新)



八木本部統括部長



坪井理事長



中部地方交通運輸産業労働組合協議会 第29回定期総会が開催される

11月14日(水) 15時より、名古屋市内において、中部地方交通運輸産業労働組合協議会の第29回定期総会が開催され、貨物鉄産労からは、榎地本委員長が会計監査、長尾地本執行委員が代議員として出席しました。総会は、勝田副議長(運輸労連)の開会のあいさつで始まり、資格審査として役員定数25名中24名、代議員定数41名中41名の出席で総会の成立が宣言され、総会議長に小西代議員(JR連合)を選出し進められました。事務局を代表して鎌田議長(JR連合)は、中部交運の取り組み課題として、①安全の確保について、②政策の実現について、③春闘の取り組みについて考え方を述べました。

その後、総会議長より祝電・メッセージの披露があり、議事に入りました。議事は、2018年度活動経過報告、2018年度決算報告・同会計監査報告、2019年度活動方針(案)、2019年度予算(案)が各担当より提示され異議なく承認されました。その後、総会議長よりスロージャーガンが提案され満場の拍手で採択されました。つづいて、役員推薦委員長より、役員推薦委員会の協議経過と結果について報告があり、JR連合からは、鎌田議長(JR東海ユニオン)、星川幹事(JR東海ユニオン)、榎会計監査(貨物鉄産労)が選出され満場一致で承認、総会宣言(案)が朗読され満場の拍手で採択されました。新役員を代表して鎌田議長よりあいさつがあり、閉会のあいさつ、「団結がんばろう」を三唱し定期総会は成功裏に終了しました。尚、総会前段の13時30分より、中部運輸局の大林係長を講師に迎え「自動運転の動向について」講義を頂きました。



つづいて、来賓として、住野交運協本部議長、西川立憲民主党政調会長、伴野国民民主党副代表、平山社民党副代表、塚本新政あいち代表、国会議員秘書、国会議員、市会議員の皆さんからあいさつがありました。

・人事制度見直し提案「申」を提出しました。今後、鋭意に交渉を進めていきます。
・物販(クラウンメロン)のご理解ご協力をよろしくお願い致します。